



大空の安全を支える航空保安業務
— その大きな使命のために —

航空管制官

採用試験ガイド (大学卒業程度)

✦ 主な仕事の内容

採用後、航空保安大学校で航空管制に関する基礎知識と技能を習得します。

研修修了後、全国各地の空港や航空交通管制部に配属され、現場訓練を経た後、航空管制官の業務に従事します。職場は交替制勤務で、転勤は全国異動となります。

空港の管制官



飛行場管制業務

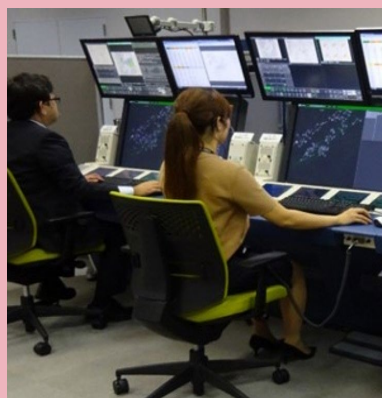
空港にある管制塔から目視で航空機を捉え、離着陸の許可、飛行場面の走行経路の指示等を出します。空港を中心に約9km圏内の空域を担当します。



ターミナル・レーダー管制業務

レーダーで航空機を捉え、離着陸する航空機に針路、高度等を指示し、安全な間隔を保ちながら誘導します。空港から約100km圏内を担当します。

航空交通管制部の管制官



航空路管制業務

レーダーで航空機を捉え、主に巡航中の航空機に指示や許可を与えます。日本の空港を離着陸する航空機のみならず、外国からの通過機にも同様に管制業務を提供します。

✦ 先輩からのメッセージ



道なき空の安全を支える

2005年 航空保安大学校 修了

現在の勤務地
那覇空港事務所 主幹航空管制官

航空機は、音速に迫る速度で世界中を絶え間なく飛行しています。パイロットへの飛行経路や高度等の指示を通じて、航空機の安全運航の一翼を担っているのが航空管制官です。運航に係る様々な状況にチームワークを発揮して対応していくことが管制の醍醐味です。パイロットへの言葉が大空を飛行する航空機の安全運航を支え、乗客の方たちの安心につながります。皆さんも一緒に空の安全を支えてみませんか。



安全運航のバトンを繋いで

2020年 航空保安大学校 修了

現在の勤務地
那覇空港事務所 航空管制官

航空管制官の仕事は、パイロットや空港で働く多くの人々との連携で成り立っています。責任の大きな仕事ですが、一人ひとりの力が結集し、チームワークが発揮され、航空機の安全運航に貢献できた時にやりがいを感じます。また、安全かつ効率のよい交通流をつくるためには、航空機や天候等あらゆる状況を想定することも大切です。空の安全を担う一員として、みなさんも航空管制官を目指してみませんか。

航空管制官公式サイトもご覧ください。

航空管制官 公式

検索

